
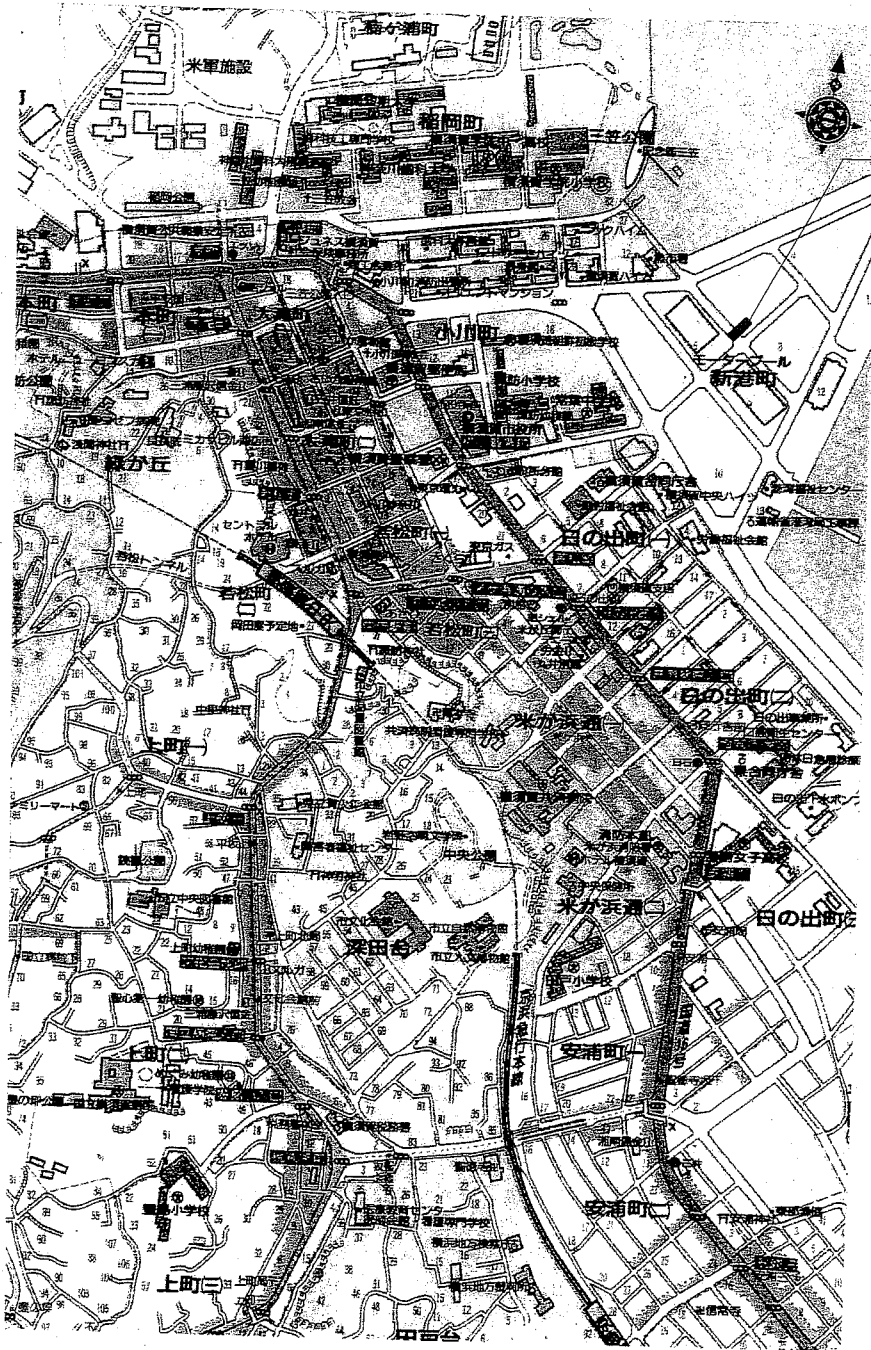


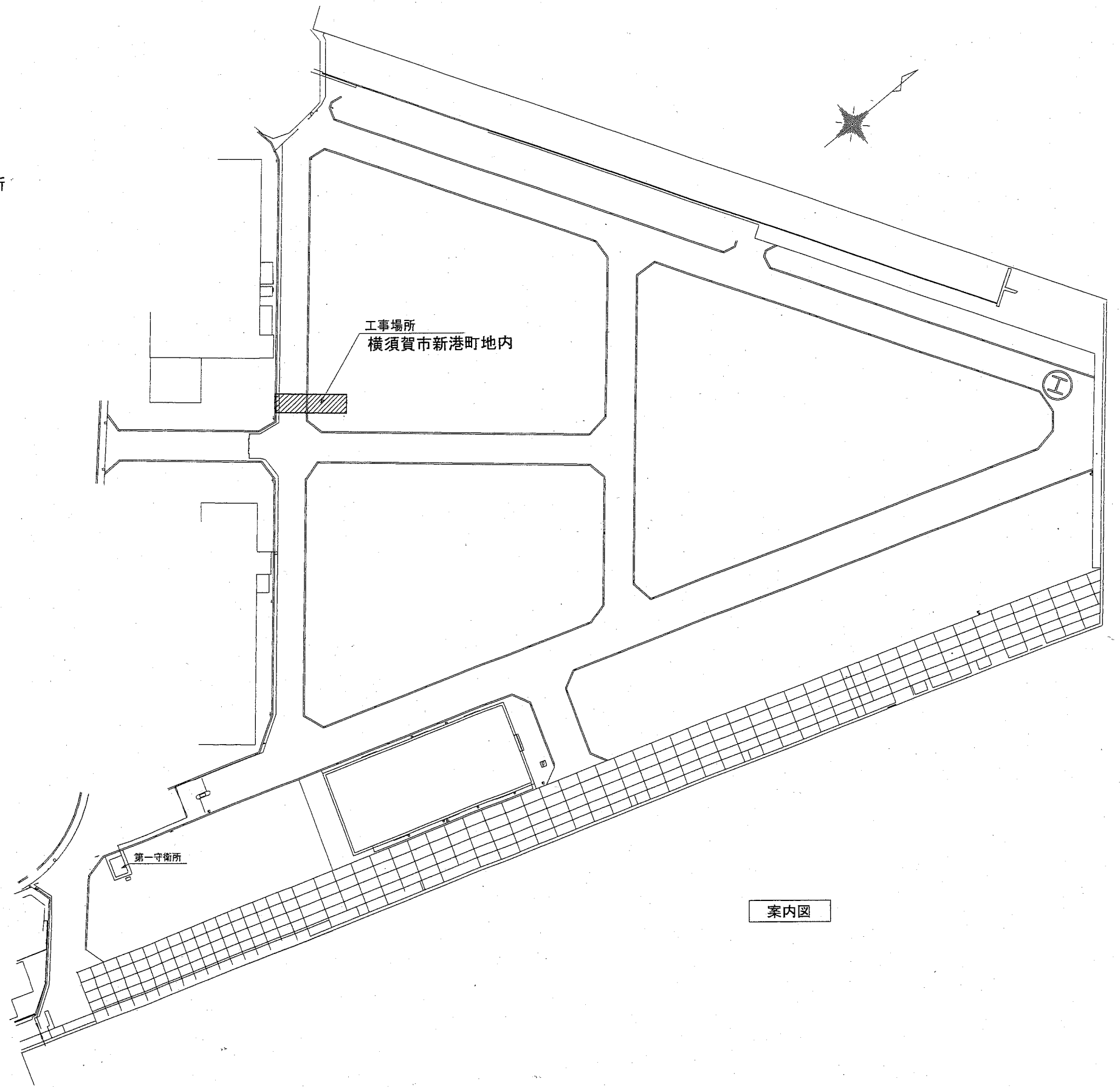
# 新港地区新港ふ頭守衛所新築工事

令和2年10月

設計年月日		令和2年10月	公共建築課長	主査等	担当者	工事名称	新港地区新港ふ頭守衛所新築工事	縮尺	図面番号
						図面名称	表紙		/



工事場所



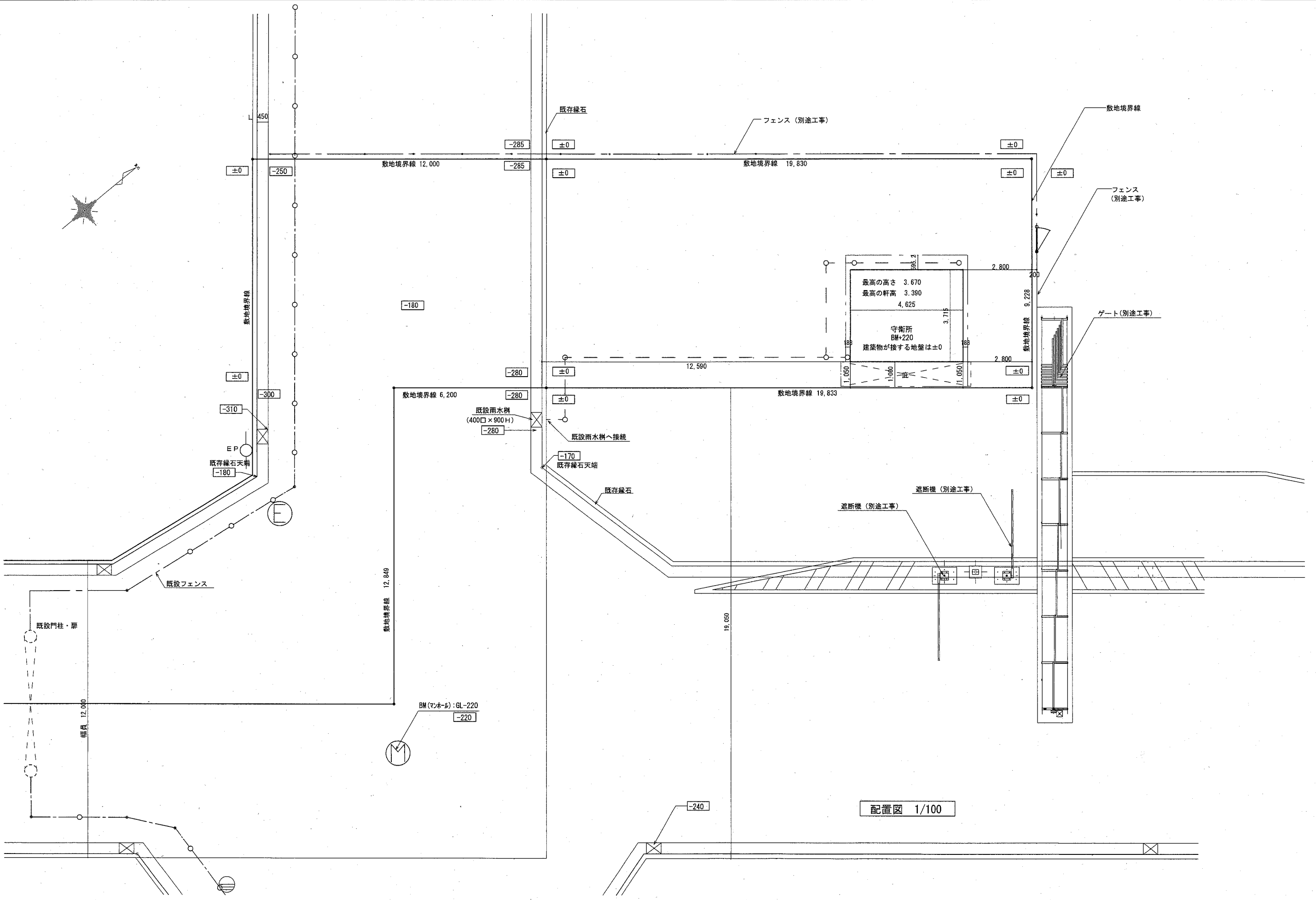
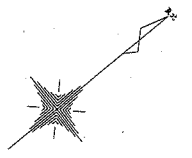
工事場所  
横須賀市新港町地内

第一守衛所

案内図

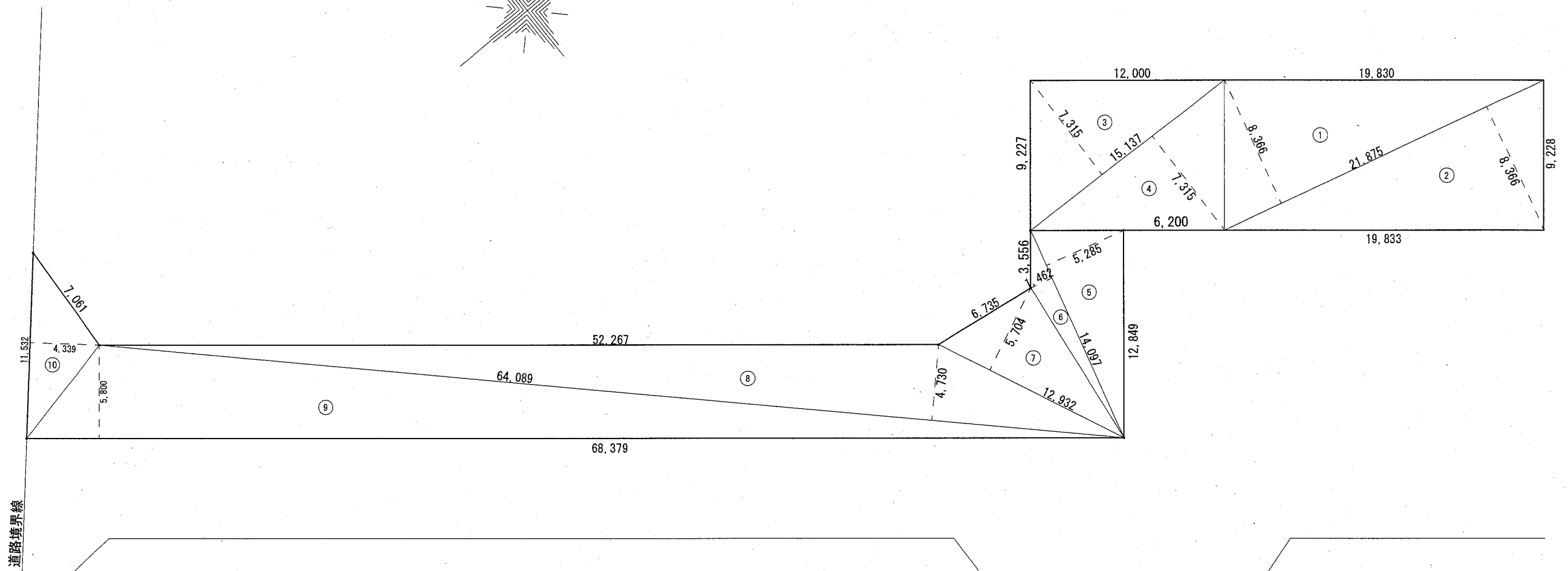
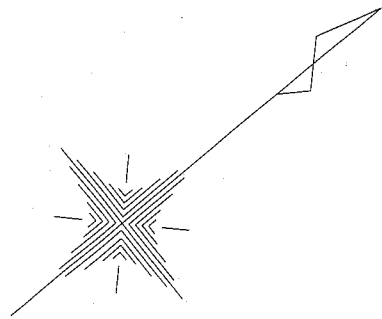
設計年月日 令和2年10月	公共建築課長	主査等	担当者	工事名称	新港地区新港ふ頭守衛所新築工事	縮尺	図面番号 A / 1
				図面名称	案内図		





配置図 1/100

設計年月日	令和 2年10月 日	公共建築課長	主査等	担当者	工事名称	新港地区新港ふ頭守衛所新築工事	縮尺	図面番号
					図面名称	配置図	1/100	A / 2



敷地面積			
	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (㎡)
①	21.875	8.366	183.006250
②	21.875	8.366	183.006250
③	15.137	7.315	110.727155
④	15.137	7.315	110.727155
⑤	14.097	5.285	74.502645
⑥	14.097	1.462	20.609814
⑦	12.932	5.704	73.764128
⑧	64.089	4.730	303.140970
⑨	68.379	5.800	396.598200
⑩	11.532	4.339	50.037348
倍面積	計		1506.119915
敷地面積	(㎡)		753.05

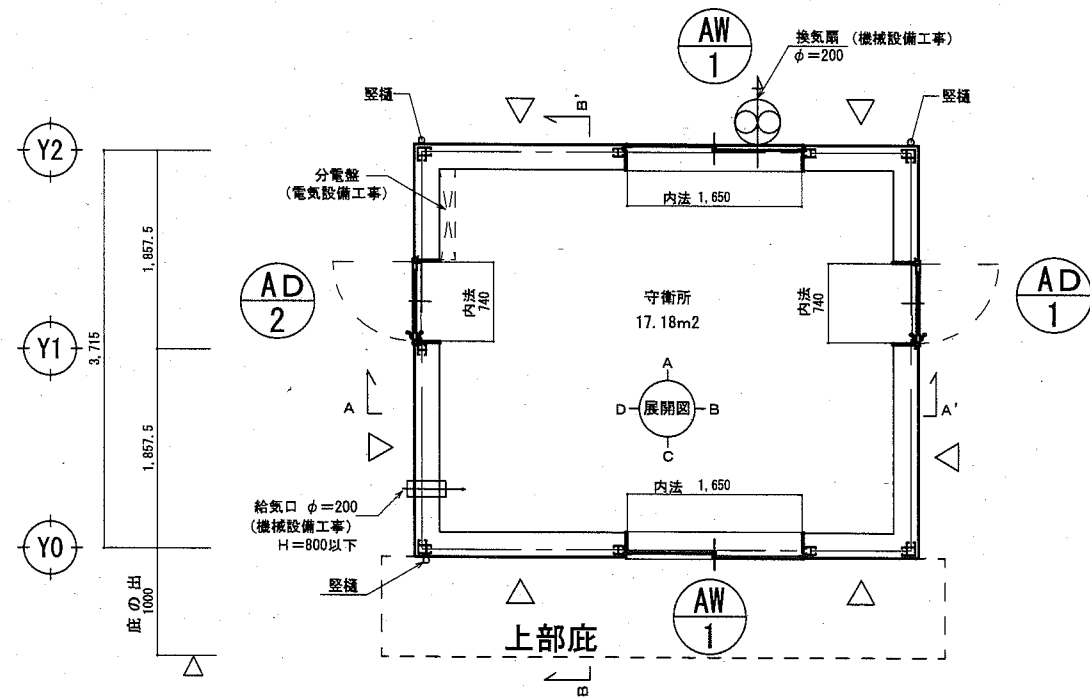
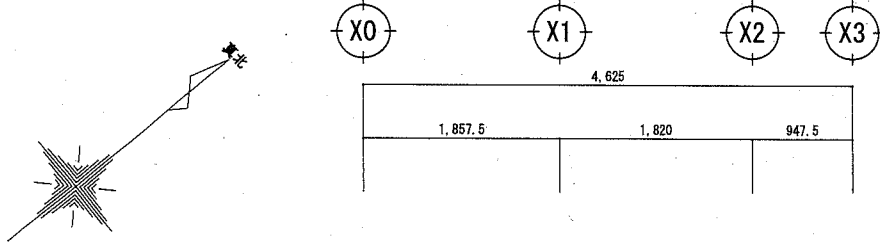
敷地面積求積図 1/200

建物概要

工事名称	新港地区新港心頭守衛所新築工事	用途地域 その他	準工業地域 / 防火指定なし 建蔽率60%、容積率200% 公共下水道排水区域 高度地区(第2種高度地区) 臨港地区 屋外広告物(禁止・許可)地域 第2種許可
建築地	横須賀市新港町1番の一部、5番の一部		
主要用途	守衛所		
構造・規模	鉄骨造 平屋建 新築工事 床面積 17.18㎡	備考	守衛所本体は日成ビルド工業(株)の製品(グレートハウス) 同等品以上とする 電気・機械設備工事を含む
外部仕上表			
構造	軽量鉄骨造(妻・桁共、ブレース構造)	外壁	窯業系サイディング t=16 ヨコ貼(通気工法) たて木胴縁(18×30) + 透湿防水シート t=0.17 断熱材 グラスウール t=50 24kg/m³ ニテハ(防火構造 PC-030BE-9201)同等品以上
基礎	鉄筋コンクリート造 布基礎(図面番号A/6参照) 床下防湿層(ポリエチレンフィルム t=0.15)敷き 土間コンクリート t=100(図面番号A/6参照)	土台水切り	ガルバリウム鋼板 t=0.35
屋根	折板:ガルバリウム鋼板 t=0.6 裏面:ポリエチレンフォーム t=4.0 不燃NM-1181	軒・堅樋	塩ビ製 堅樋 φ=60 軒樋 W=120
	化粧鉄板:ガルバリウム鋼板 t=0.6	取付け金具	ステンレス製 軒樋@900 堅樋 上・中・下 計3か所
		建具	図面番号A/5(建具表)参照
		外構	図面番号A/7参照

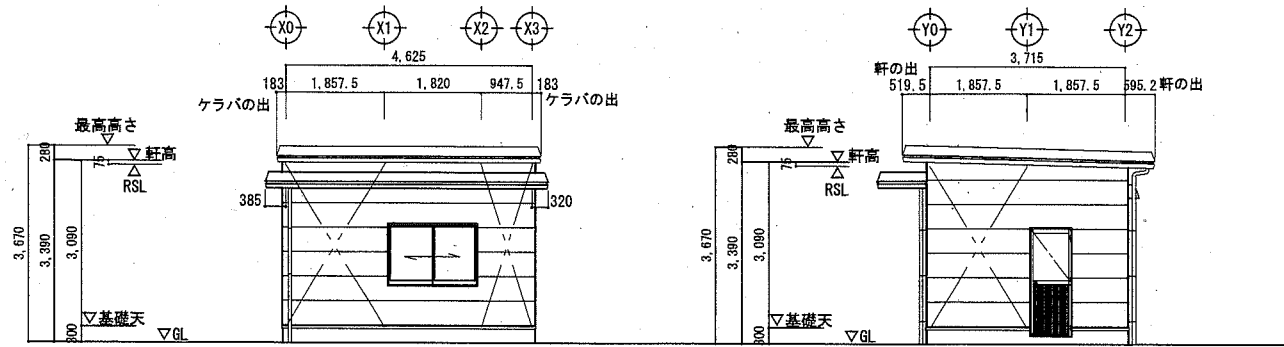
内部仕上表 (各仕上は同等品) 仕上材は全て F☆☆☆☆

	床仕上	巾木	壁仕上	天井仕上	廻縁
守衛所	ビニル床シート t=2.0貼(歩行用同等品) 土間コンクリート打ち t=100	塩ビ製巾木 H=60	不燃クロス貼(素地ごしらえ共)(不燃) 石膏ボード t=12.5 LGS下地(JIS 50形)@300 断熱材グラスウール t=50 24kg/m³	化粧石膏ボード t=9.5 準不燃:QM-0524 同等品以上 LGS下地(JIS 19形) 断熱材グラスウール t=50 24kg/m³	塩ビ



1階平面図 S=1/50

△: プレース位置を示す



東立面図 S=1/100

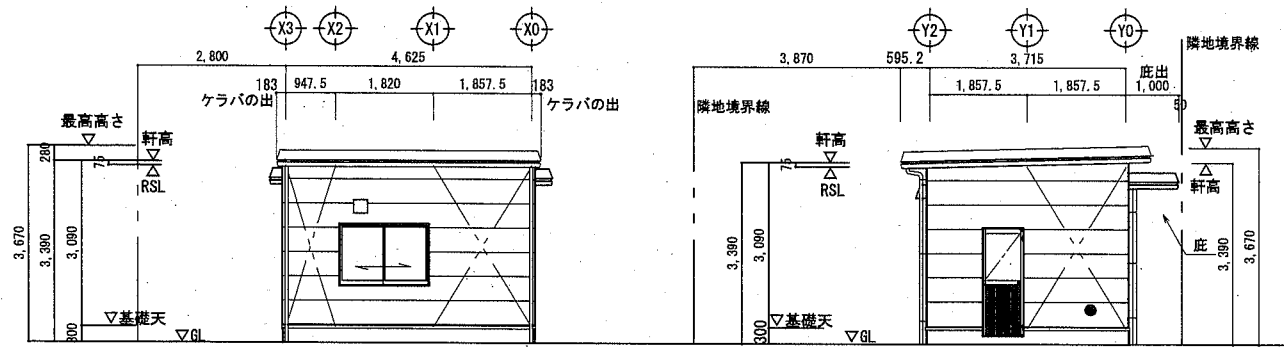
(Y0通り立面図)

---: プレースを示す

北立面図 S=1/100

(X3通り立面図)

---: プレースを示す



西立面図 S=1/100

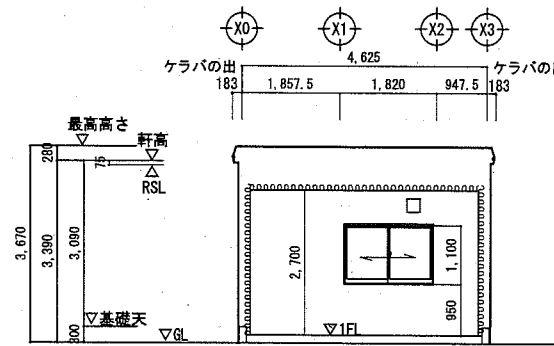
(Y2通り立面図)

---: プレースを示す

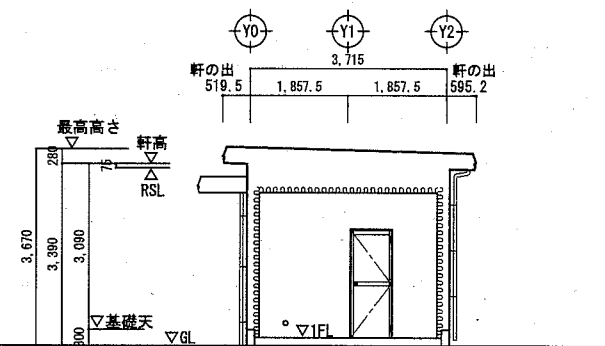
南立面図 S=1/100

(X0通り立面図)

---: プレースを示す



A-A' 断面図 S=1/100



B-B' 断面図 S=1/100

設計年月日 令和 2年10月 日

公共建築課長 主査等 担当者

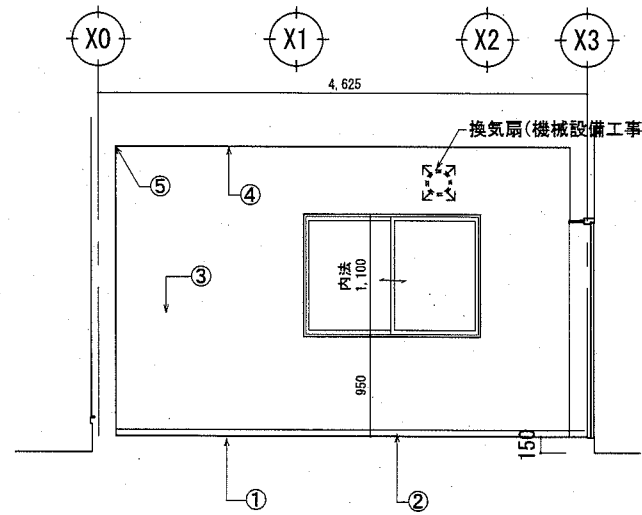


工事名称 新港地区新港心頭守衛所新築工事

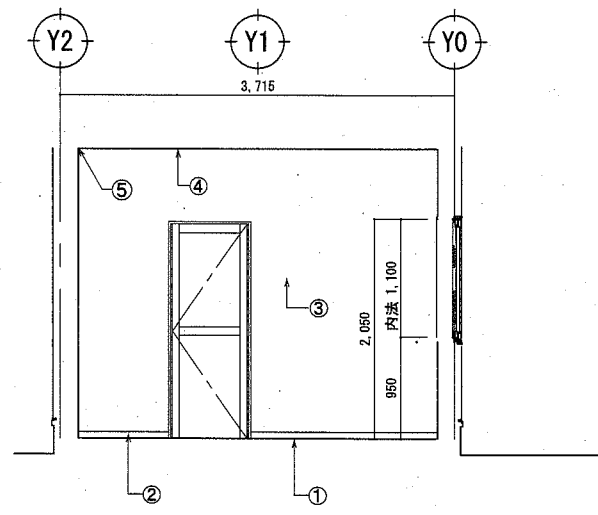
図面名称 建物概要 外・内部仕上表 平面図  
立面図 断面図

縮尺 1/50 1/100

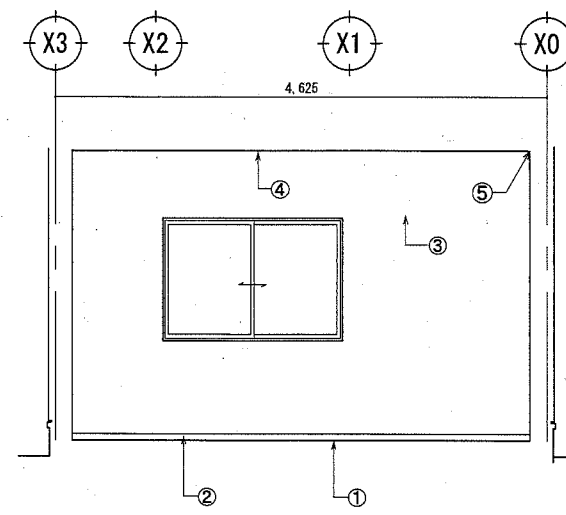
図面番号 A / 4



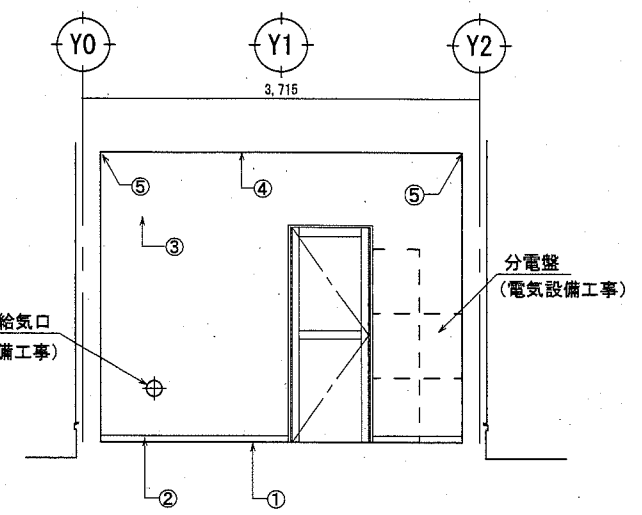
A 展開図 S=1/50



B 展開図 S=1/50



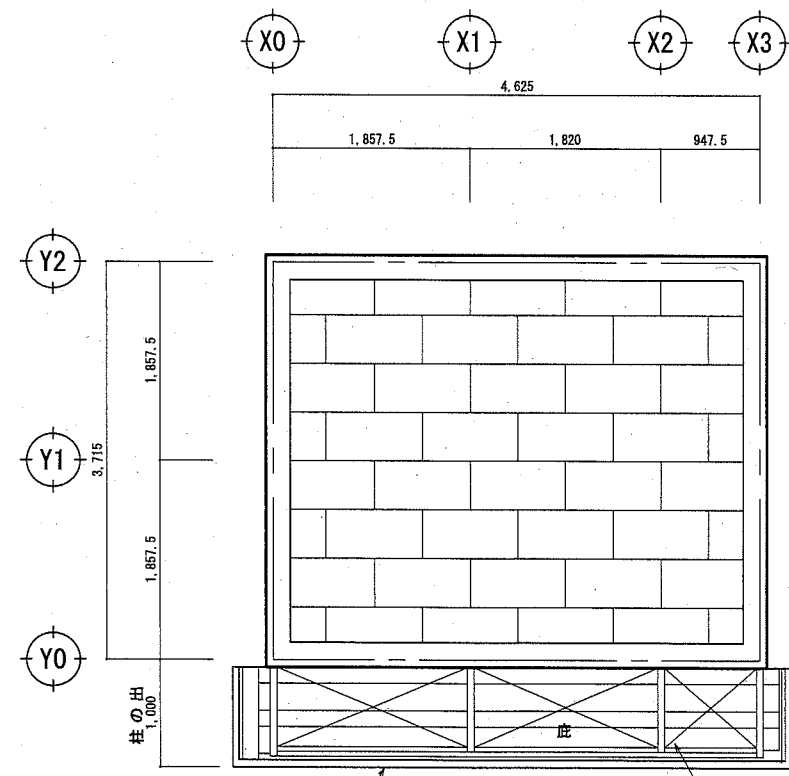
C 展開図 S=1/50



D 展開図 S=1/50

凡例

①	床仕上	ビニル床シート貼 t=2.0	④	天井仕上	化粧石膏ボード t=9.5
②	巾木	塩ビ製巾木	⑤	廻縁	塩ビ製
③	壁仕上	不燃クロス貼			



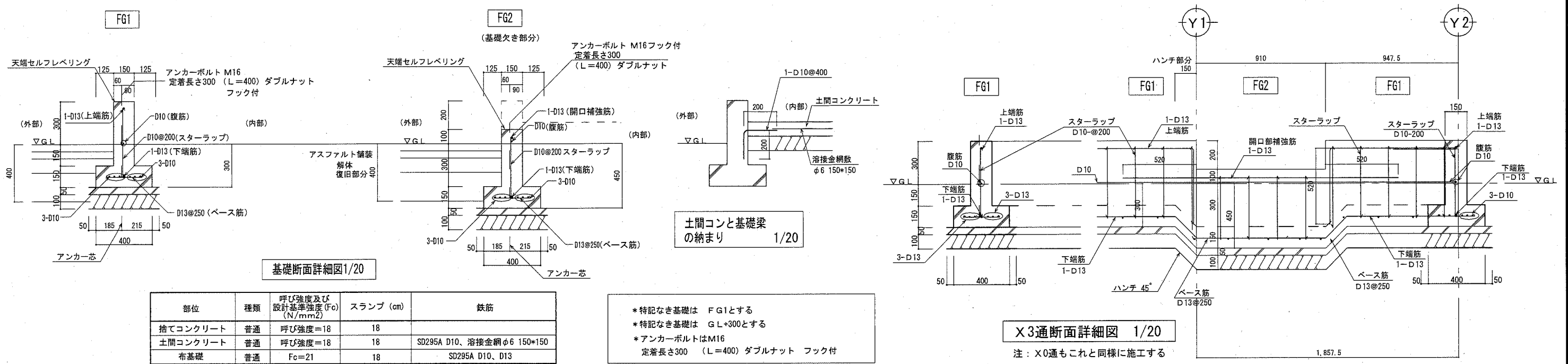
天井伏せ図 S=1/50

天井仕上	
仕上	化粧石膏ボード t=9.5 準不燃: QM-0524 (同等品) 以上
下地	LGS下地 (JIS 19形) 断熱材グラスウール t=50 24kg/m³

建具表

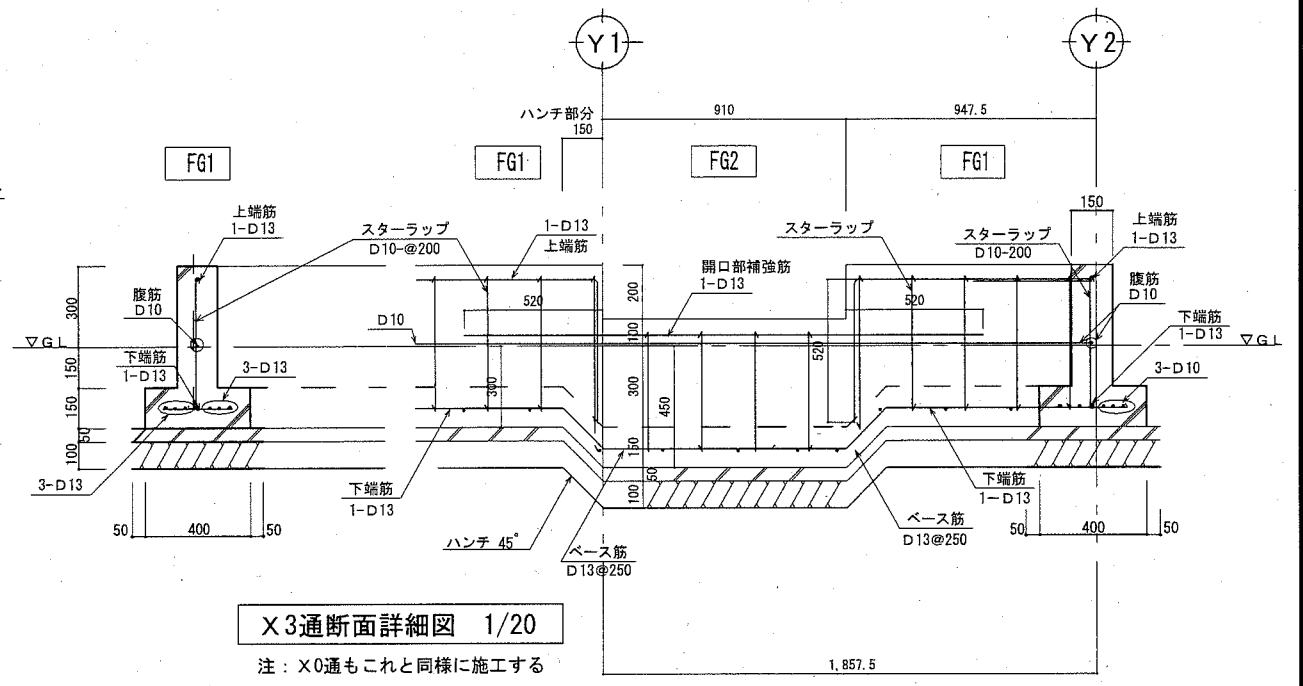
記号・数量	AW 1	2	守衛所	AD 1	AD 2	2 (各1合計2)	守衛所
取付場所							
種別方式	引き違い窓			片開きドア			
形状・寸法 (額縁内法)							
面材仕上	アルミサッシ	透明ガラスt=3	アルミドア	透明ガラスt=3			
付属金物	クレセント 付属金物一式 四方アングル			鍵付握球 内側: サムターン			
備考	ブラインド取付 その他の仕様は建物メーカーの仕様による			その他の仕様は建物メーカーの仕様による			



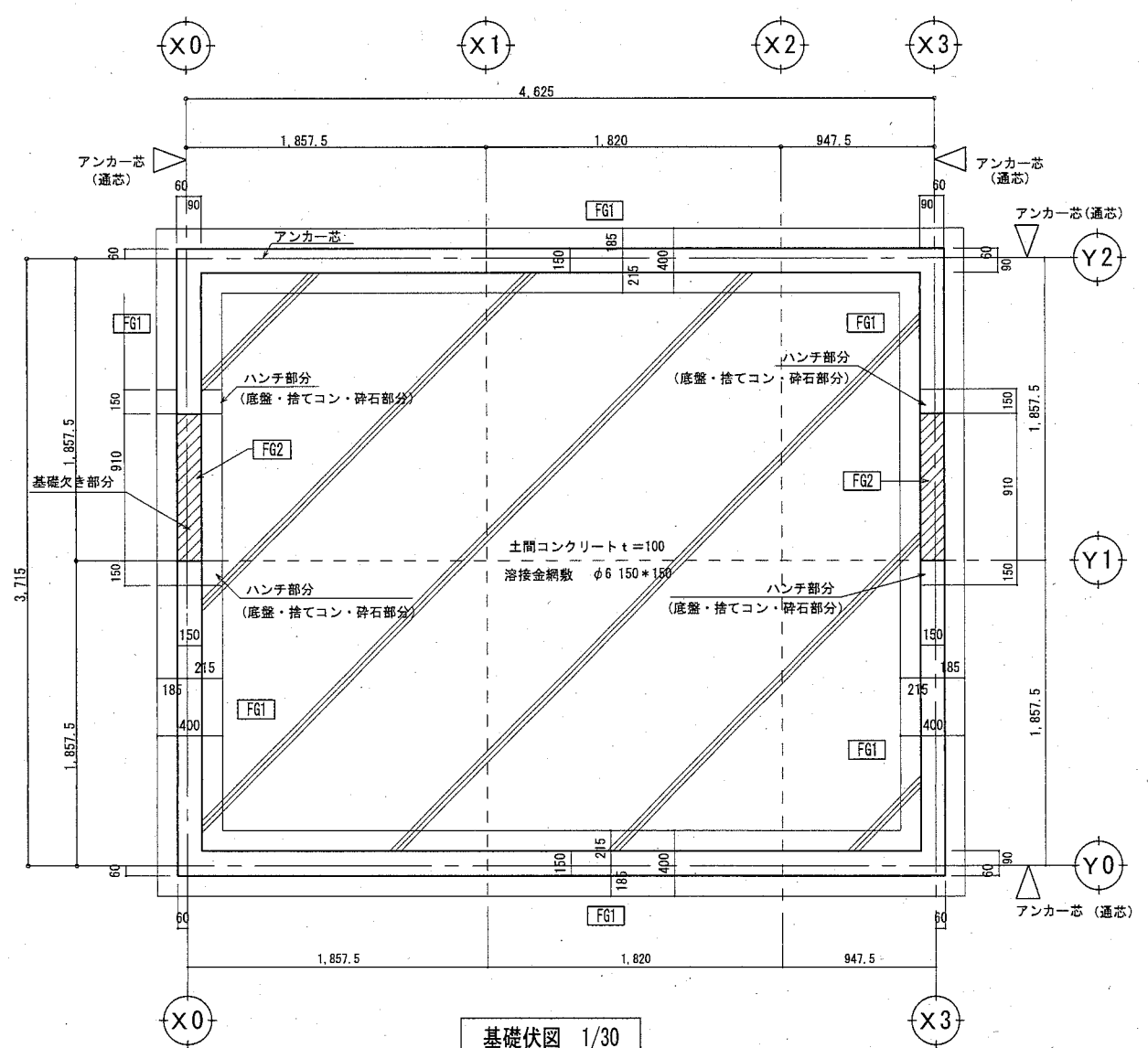


部位	種類	呼び強度及び設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	鉄筋
捨てコンクリート	普通	呼び強度=18	18	
土間コンクリート	普通	呼び強度=18	18	SD295A D10、溶接金網φ6 150×150
布基礎	普通	F <sub>c</sub> =21	18	SD295A D10、D13

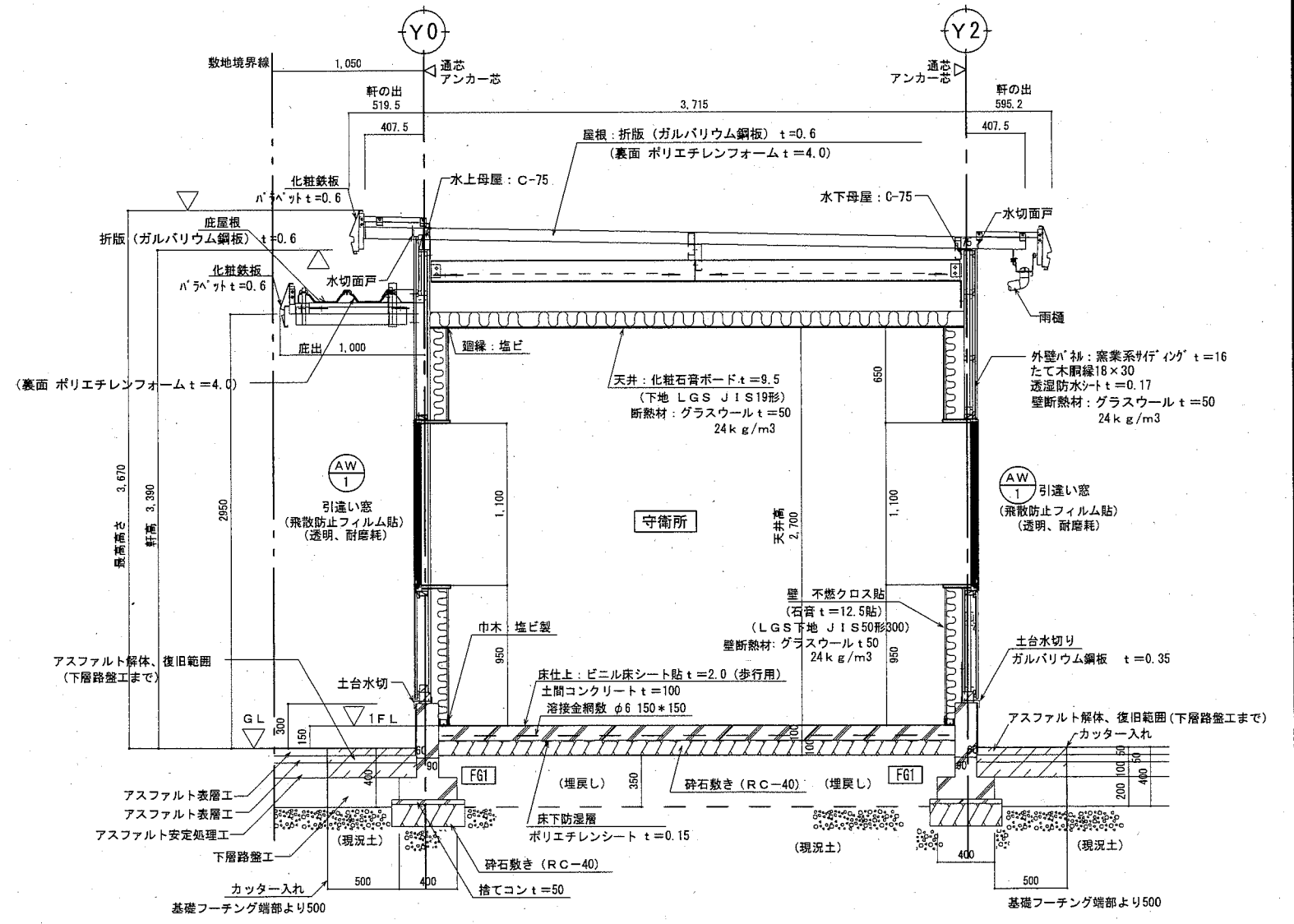
\*特記なき基礎は FG1とする  
 \*特記なき基礎は GL+300とする  
 \*アンカーボルトはM16  
 定着長さ300 (L=400) ダブルナット フック付



X3通断面詳細図 1/20  
 注: X0通もこれと同様に施工する



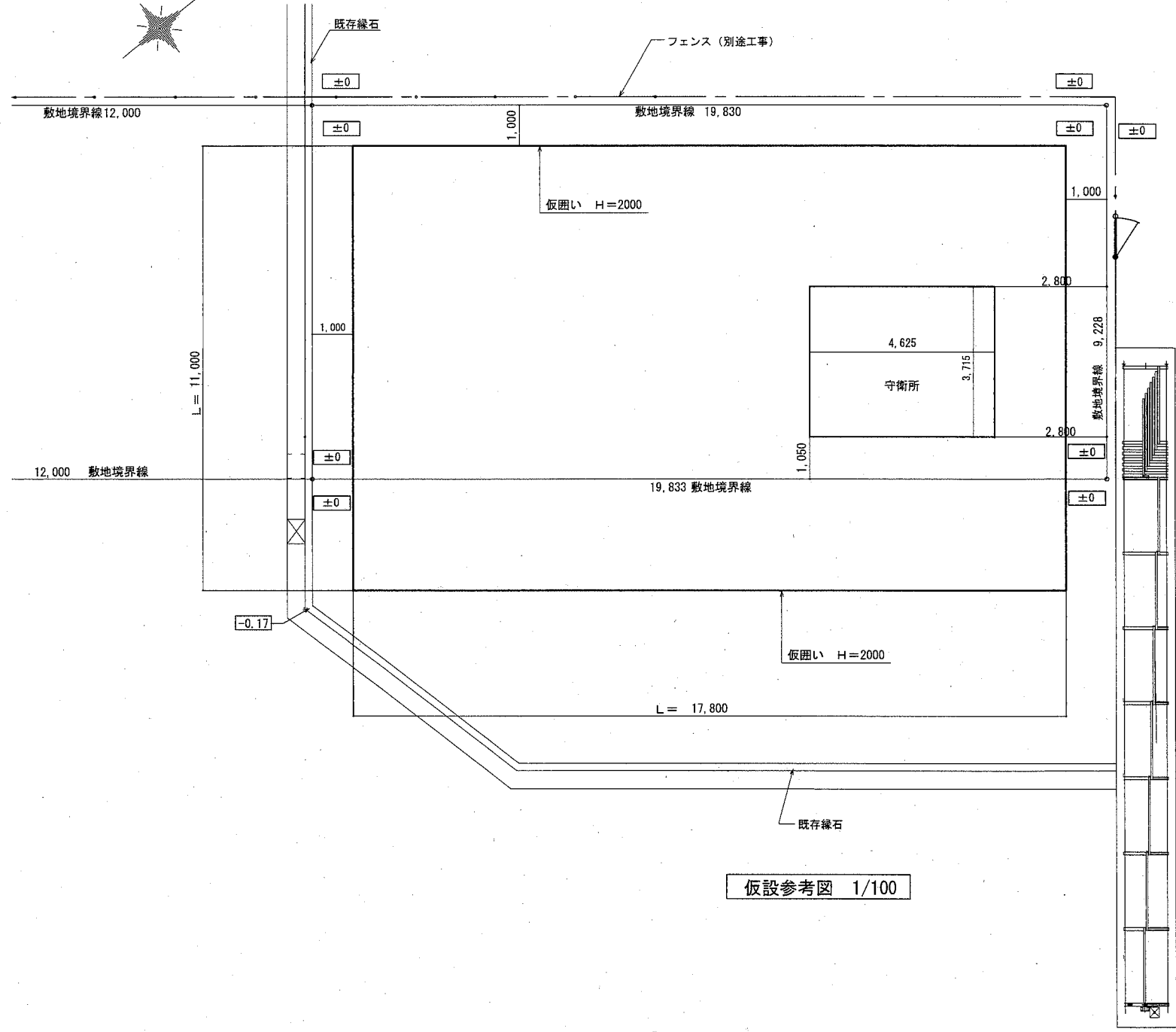
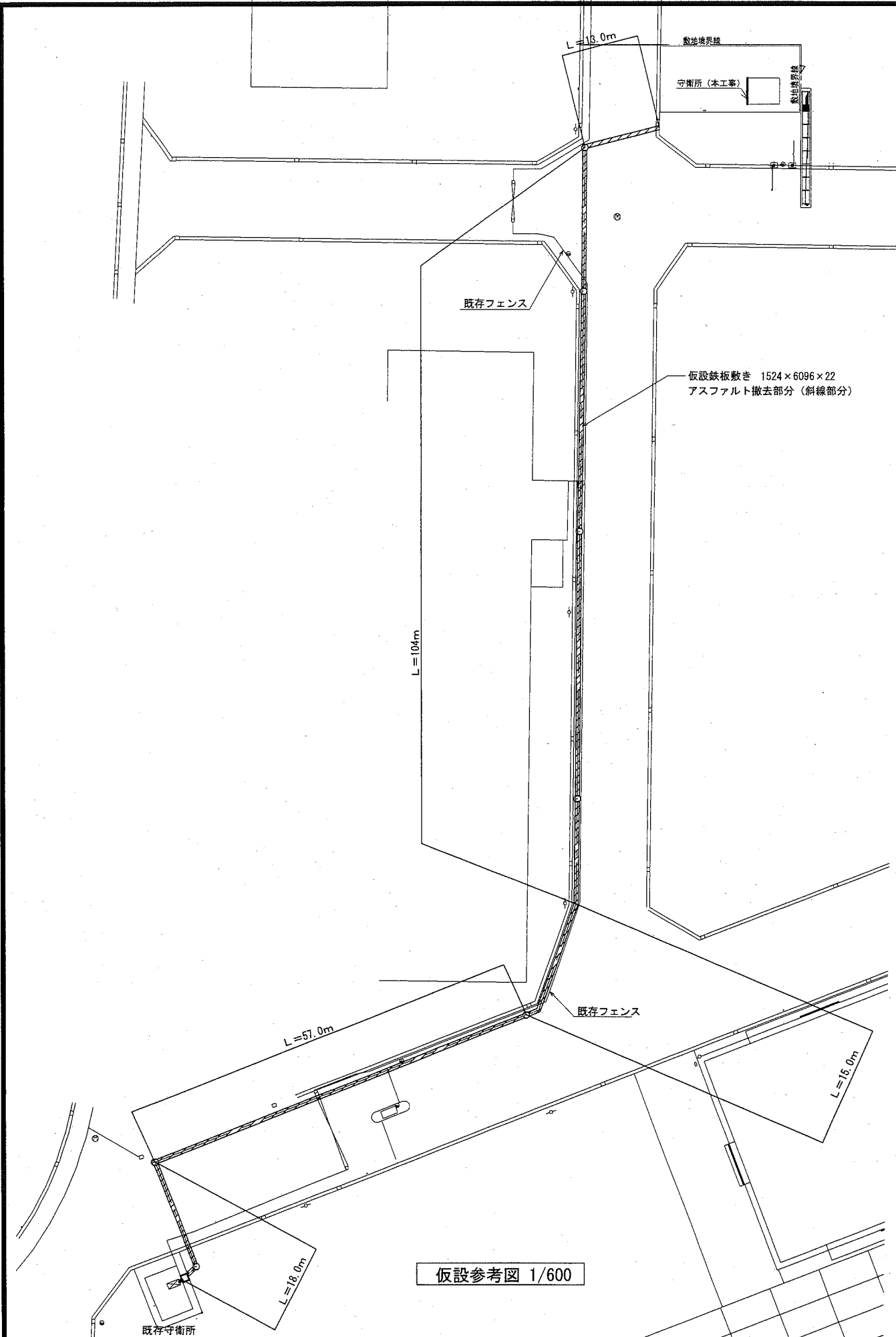
基礎伏図 1/30  
 注: 基礎芯とアンカー芯のずれ15mm



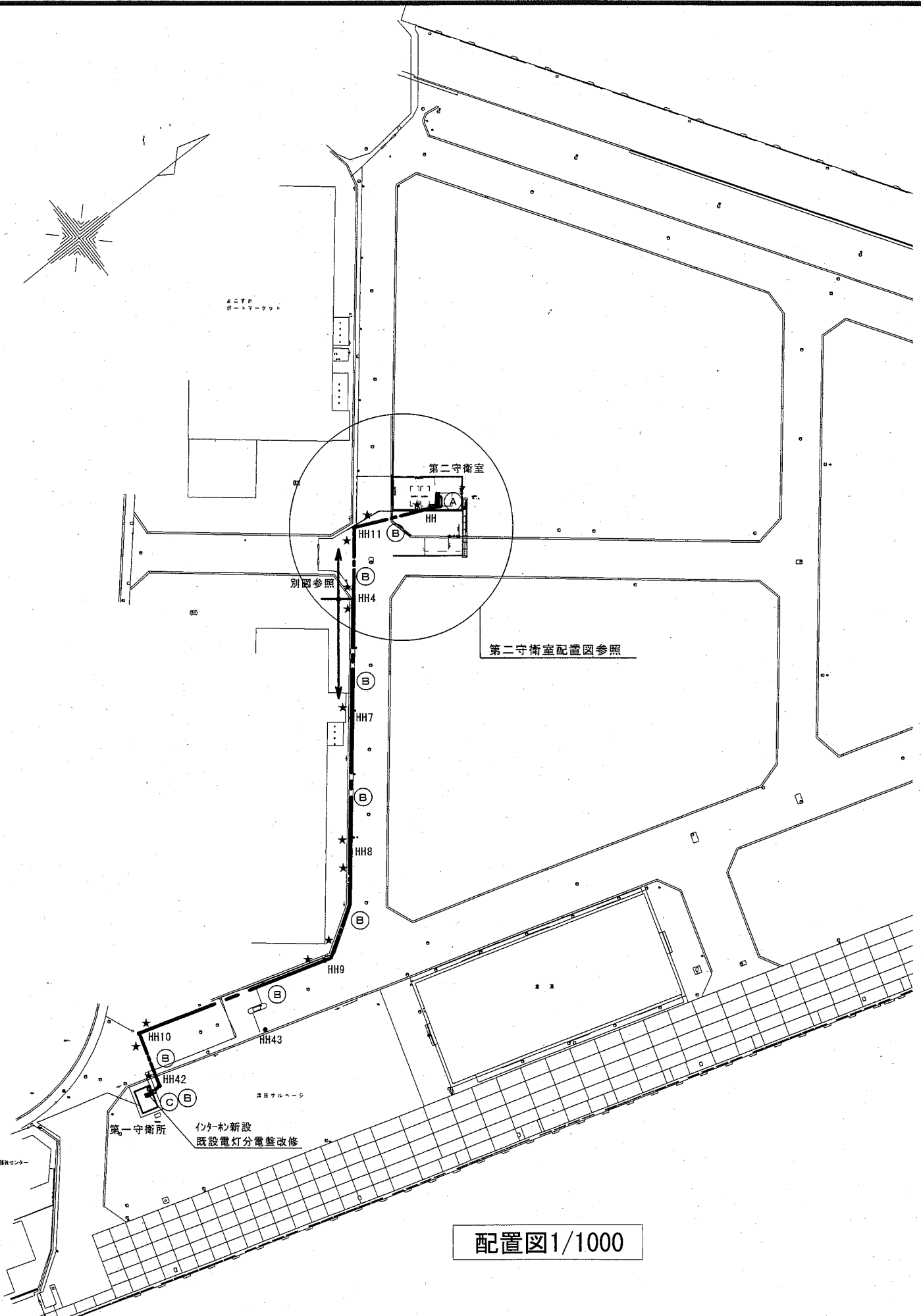
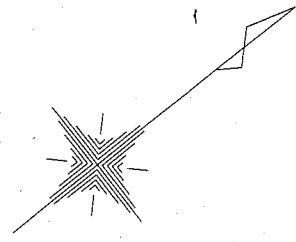
矩計図 1/30  
 \*FG1、FG2の配筋は基礎断面詳細図参照





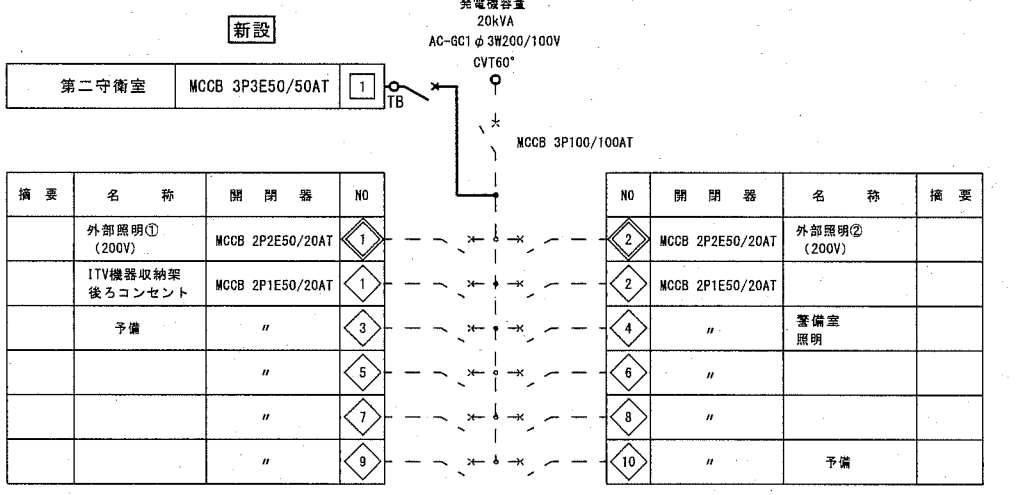
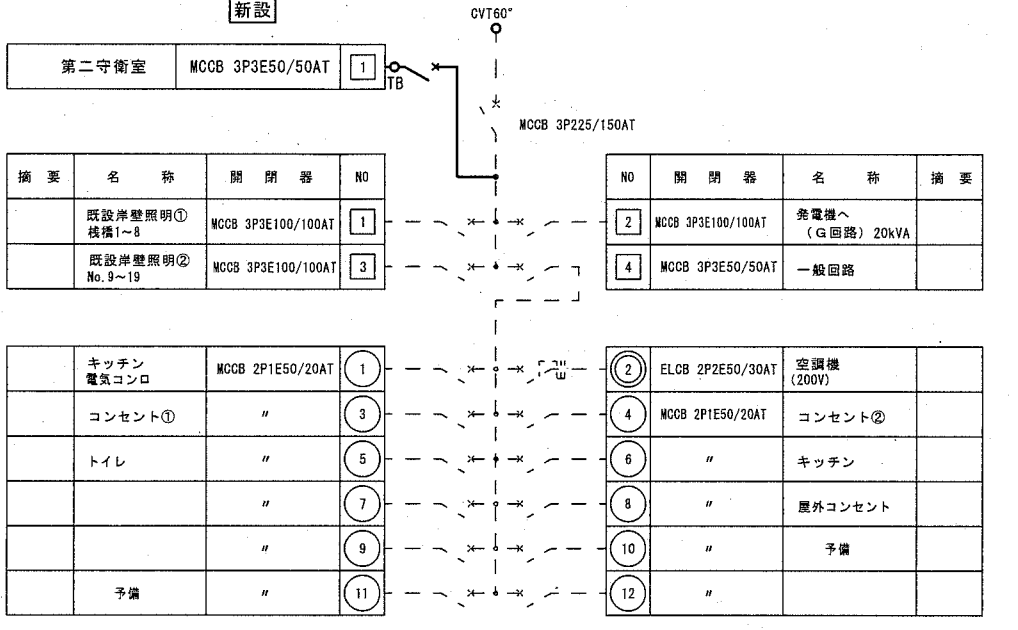


設計年月日 令和 2年10月 日		公共建築課長	主査等	担当者	工事名称 新港地区新港心頭守衛所新築工事	縮尺 1/100 1/600	図面番号 A / 8
					図面名称 仮設参考図		



配置図1/1000

第一守衛室  
既設電灯分電盤  
改修



凡例

記号	名称	規格・形式
---	地中埋設配線	
○	既設ハンドホール	

項目	ケーブル	配管	記号			摘要
			(A)	(B)	(C)	
AC-1 φ3W200/100V	EM-CET38°	(FEP50)	○	○	(G54) ○	
AC-GC1 φ3W200/100V	EM-CET38°	(FEP50)	○	○	(G54) ○	
ゲート電源	EM-GE3.5° -3C×2	(FEP50)	○			
インター	EM-FQPEE0.9-1P	(FEP50)	○	○	(G54) ○	
予備	—C— 導入線	(FEP50)	○	○	(G54) ○	

屋外の露出配管は溶融亜鉛メッキ電線管を使用し塗装は行わない。  
 接地極間の離隔距離は2m以上離すこと。  
 特記なき地中配線の埋設管路は路盤下土冠り300以上とする。  
 埋設標識シート(2倍長)を布設する。  
 ★印は地中埋設標(鉄製)を示す。  
 ケーブルの巻きだまりを見込む。

設計年月日 令和2年10月 日

公共建築課長 主査等 担当者



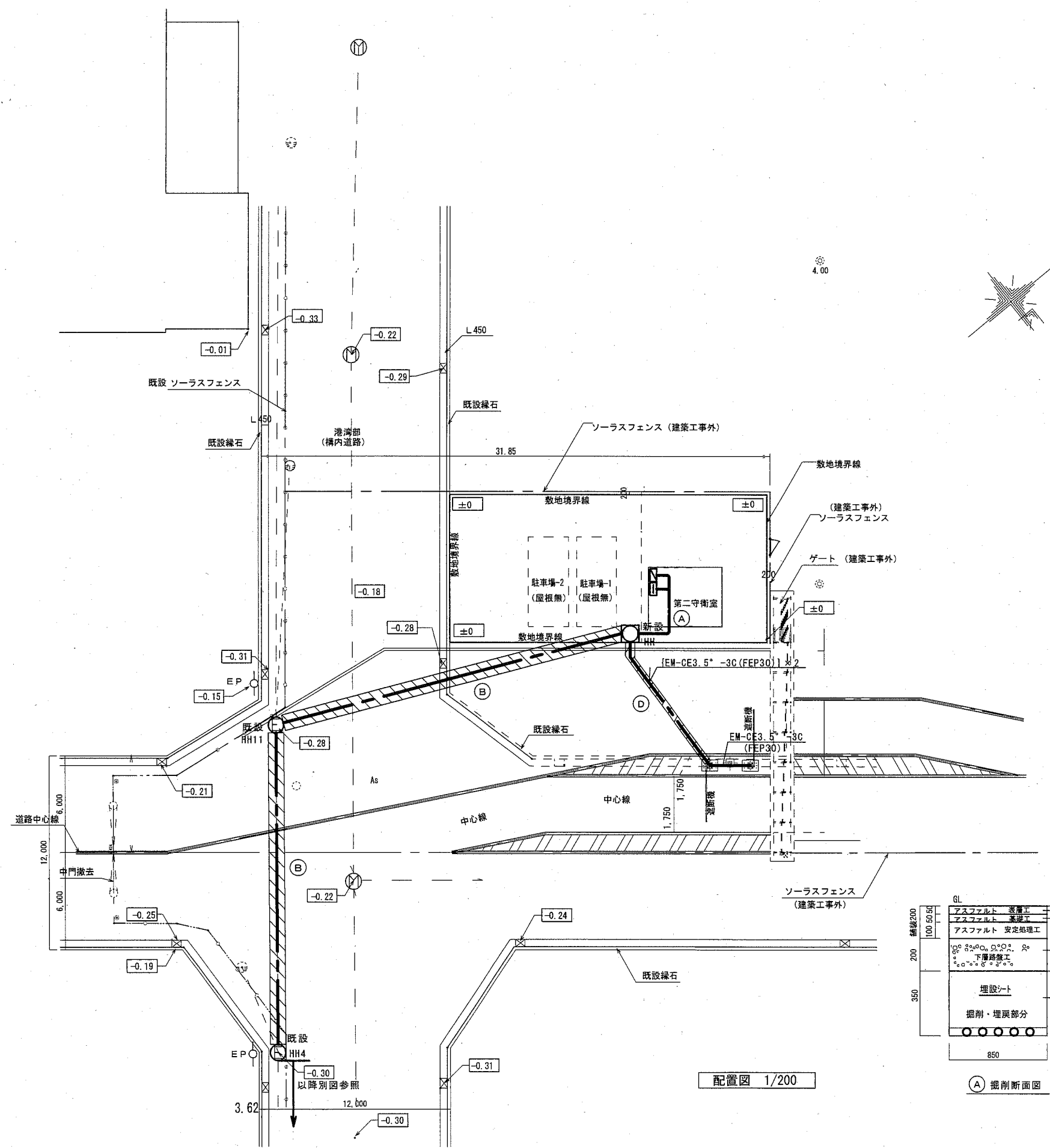
工事名称 新港地区新港ふ頭 守衛所新築工事

図面名称 配置図・既設分電盤改修図

縮尺 図面番号

A2:1/1000

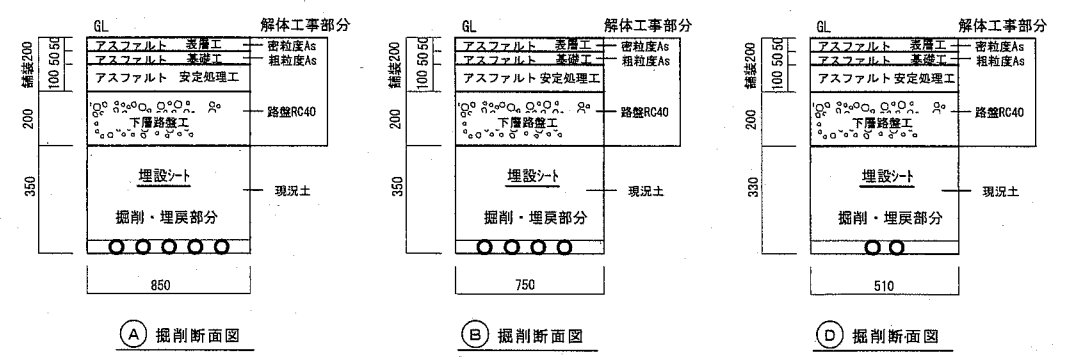
E- / 01



凡例

記号	名称	規格・形式
■	電灯分電盤	製作盤 自立形ダクト付 指定色
□	端子盤	製作盤 屋内露出壁掛形ダクト付 指定色
○ HH	ハンドホール	900□×900H R8K-60 ㊦レター付
○	既設ハンドホール	
—	地中埋設管路	
▨	7x77mm取壊し復旧	(建築工事)
Ⓐ	AC-1φ3W200/100V	EM-CET38° (FEP50)
	AC-GC1φ3W200/100V	EM-CET38° (FEP50)
	ゲート電源	EM-CE3.5°-3C×2 (FEP50)
	インターン	EM-FCPEEO.9-1P (FEP50)
	予備	—C— 導入線 (FEP50)
Ⓑ	AC-1φ3W200/100V	EM-CET38° (FEP50)
	AC-GC1φ3W200/100V	EM-CET38° (FEP50)
	インターン	EM-FCPEEO.9-1P (FEP50)
	予備	—C— 導入線 (FEP50)

特記なき地中配線の埋設管路は路盤下土冠り300以上とする。  
埋設標識シート(2倍長)を布設する。



配置図 1/200

設計年月日 令和2年10月 日

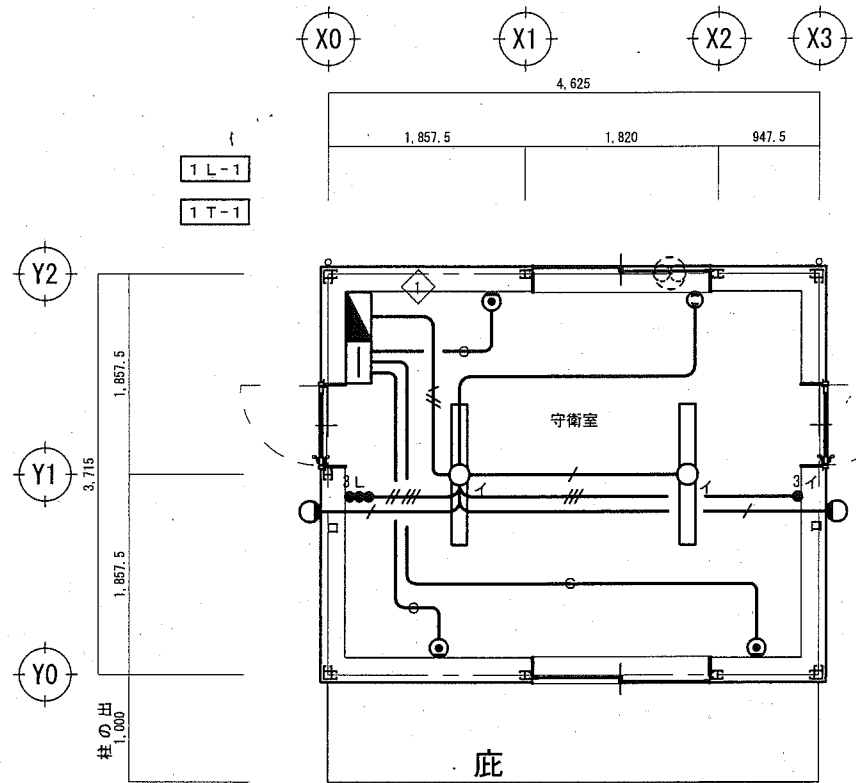
公共建築課長 主査等 担当者

工事名称 新港地区新港心頭 守衛所新築工事

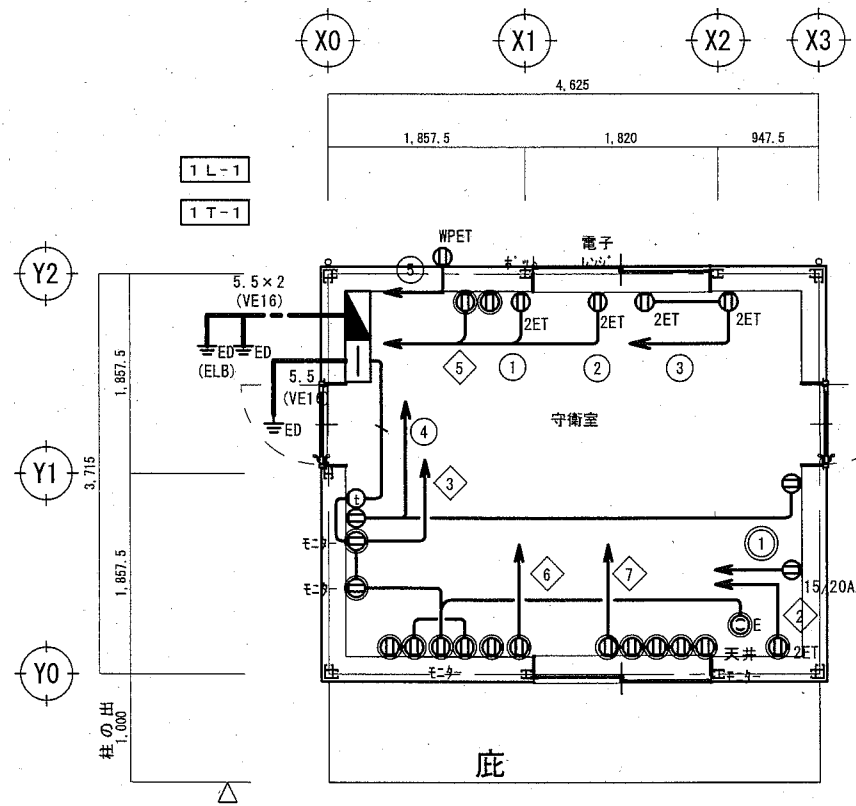
縮尺 図面番号

図面名称 第二守衛室配置図

A2:1/200 E- / 02



電灯・情報用予備配管設備  
1階平面図 S=1:50



コンセント設備  
1階平面図 S=1:50

凡例

記号	名称	規格・形式
■	電灯分電盤	製作盤 自立形ダクト付
□	端子盤	400W×600H×150D程度 上下部ダクト付
≡ED	接地工事	D種
□	照明器具	LED*ライト 姿図参照
○	照明器具	LED*ラケット "
●	埋込スイッチ	1P15A×1 ネム付
●3	埋込スイッチ	3W15A×1 "
●L	埋込スイッチ	1P15A×1 パイロットランプ付 ネム付
⊗	換気扇	(機械設備工事)
⊙	フラッシュプレート	ノズル
Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×2 接地極付
ⓂET	埋込コンセント	2P15A×1 接地極+接地端子付
Ⓜ15/20AE	埋込コンセント	2P15/20A×1兼用接地極+ET付250V
Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×1 抜止
ⓂE	埋込コンセント	2P15A×1 接地極付 抜止
ⓂWPET	防水形コンセント	2P15A×2 接地極+接地端子付
Ⓜ	コンセント	は発電機回路を示し赤色とする。
Ⓜ	インターホン	1局用親機・子機 第一守衛室と連絡用

電流値・個数は傍記による。プレートは新金属とする。  
コンセント・スイッチの取付高さは、監督員と打合せを行う。

天井隠ぺい配線  
地中埋設管路

特記なき地中配線の埋設管路は路盤下土冠り300以上とする。  
埋設標識シート(2倍長)を布設する。  
接地線はGLより750mm以上配管にて保護とする事。  
露出となる配線はメタルモール等の配管にて保護とする。

特記なき配線は、下記による。  
二重天井内配線は、ケーブル工事とする。

電灯回路	壁内保護配管
—	EM-EEF1.6-2C (PF16)
—	EM-EEF1.6-3C(1E) (PF22)
—	EM-EEF1.6-3C (PF22)
—	EM-EEF1.6-2C+3C (PF22)
—	EM-EEF2.0-3C (PF22)

コンセント回路	インターホン
—	EM-EEF2.0-3C (PF22)
—	EM-FOPEE0.9-1P (PF16)

情報用予備配管	
—	導入線 (PF22)

A	LED直付型40形 W150	B	LEDウォールライト
	公共施設型番 LSS9-4-65		1920lmタイプ 非調光 昼白色 消費電力 19.0W
		防雨型 熱線ヒューズ付 (ON/OFF型)	

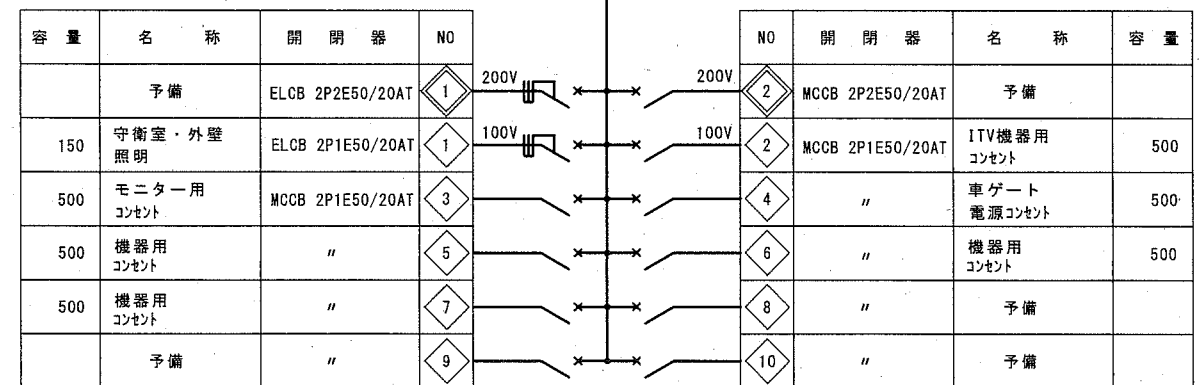
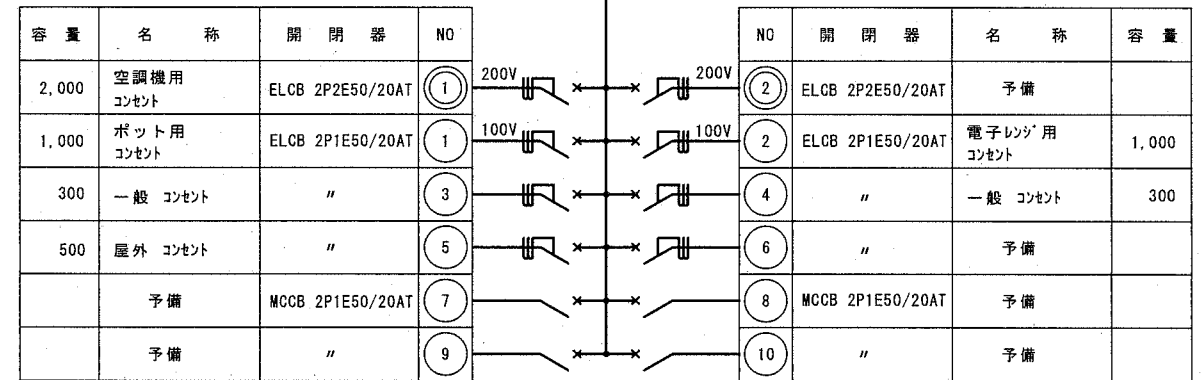
守衛室

外壁

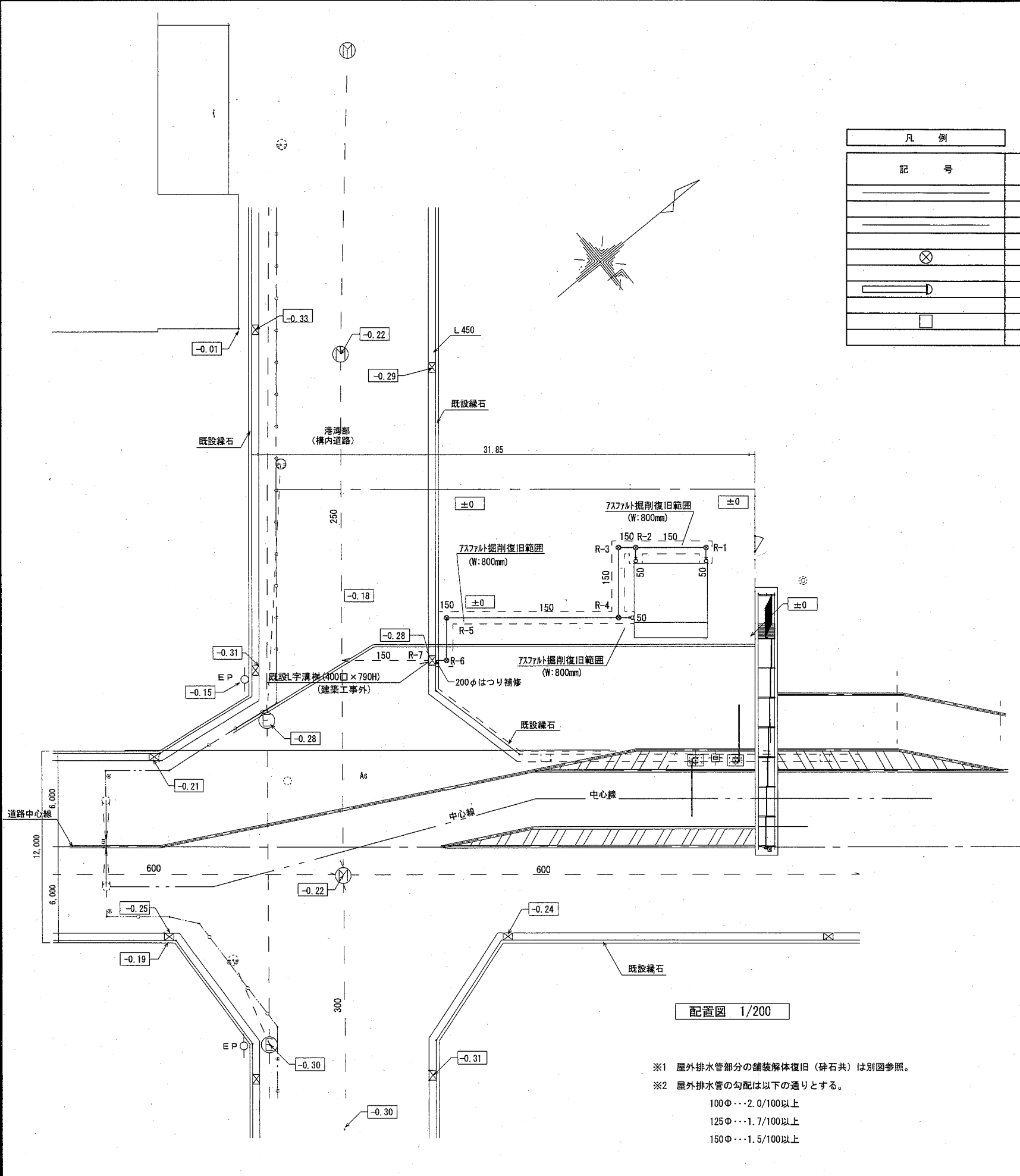
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート(乳白)  
壁直付型

照明器具姿図 (参考図)

電灯分電盤  
1L-1



分電盤名称	1L-1	備考	塗装指定色
キャビネット形式	屋内露出自立形 上部ダクト付	負荷容量 [kVA]	一般回路 5,100 発電機回路 3,150



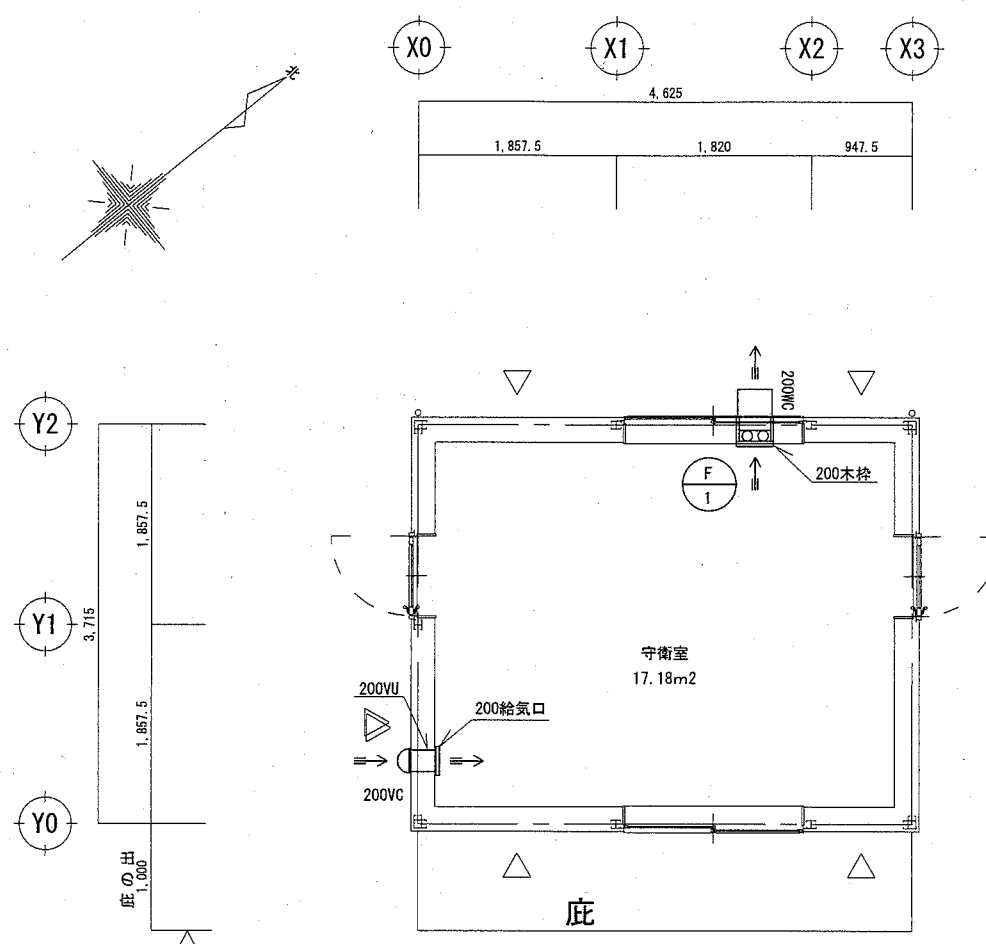
凡例

記号	名称	材質	備考
—	屋外排水管	VU管 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 管上100mmまで山砂で防護
—	排水管(立樋~樹)	VP 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 管上100mmまで山砂で防護
⊗	雨水樹	塩ビ製	泥溜(H150) カゴ付
—	ベントキャップ	VC ステンレス製深型(防虫網付)	
□	ウェザーカバー	WC ステンレス製(防虫網付)	

雨水樹リスト

番号	種類	形状(mm)	深さ(mm)	蓋	インポート	泥溜(150H)	備考
R-1	塩ビ雨水樹	200φ	350H	塩ビ蓋	—	○	90L
R-2	塩ビ雨水樹	200φ	420H	塩ビ蓋	—	○	90Y
R-3	塩ビ雨水樹	200φ	440H	铸铁蓋T-25	—	○	90L
R-4	塩ビ雨水樹	200φ	520H	铸铁蓋T-25	—	○	90Y
R-5	塩ビ雨水樹	200φ	700H	铸铁蓋T-25	—	○	90L
R-6	塩ビ雨水樹	200φ	790H	铸铁蓋T-25	—	○	90L
R-7	コンクリート樹	450□	790H	铸铁蓋	—	○	(コンクリート製) 既存

機器表				
記号	機器名称	設置場所	仕様	台数
F-1	換気扇	守衛所	電気式シャッター 羽根径 200φ 風量 150m3/h×20Pa 電源 1-100V 0.0145KW(参考) 付属品 SUSウレザ-カー (防虫網付)・木枠 ※電気工事及び24H運転表示器添付	1
	給気口	守衛所	樹脂製 200φ シャッター開閉装置付 付属品 ネットフィルター	



シックハウス対策換気量計算

階数	室名	面積 (m2)	天井高 (m)	容積 A (m3)	換気種別	換気回数 B (回/H)	必要換気量 A×B (m3/H)	設計換気量 (m3/H)	判定	備考
1	守衛室	17.18	2.70	46.386	3	0.3	13.916	150	OK	(3.23回/H) F-1 換気扇 (150m3/H)

1階平面図 S=1:50

△: プレース位置を示す

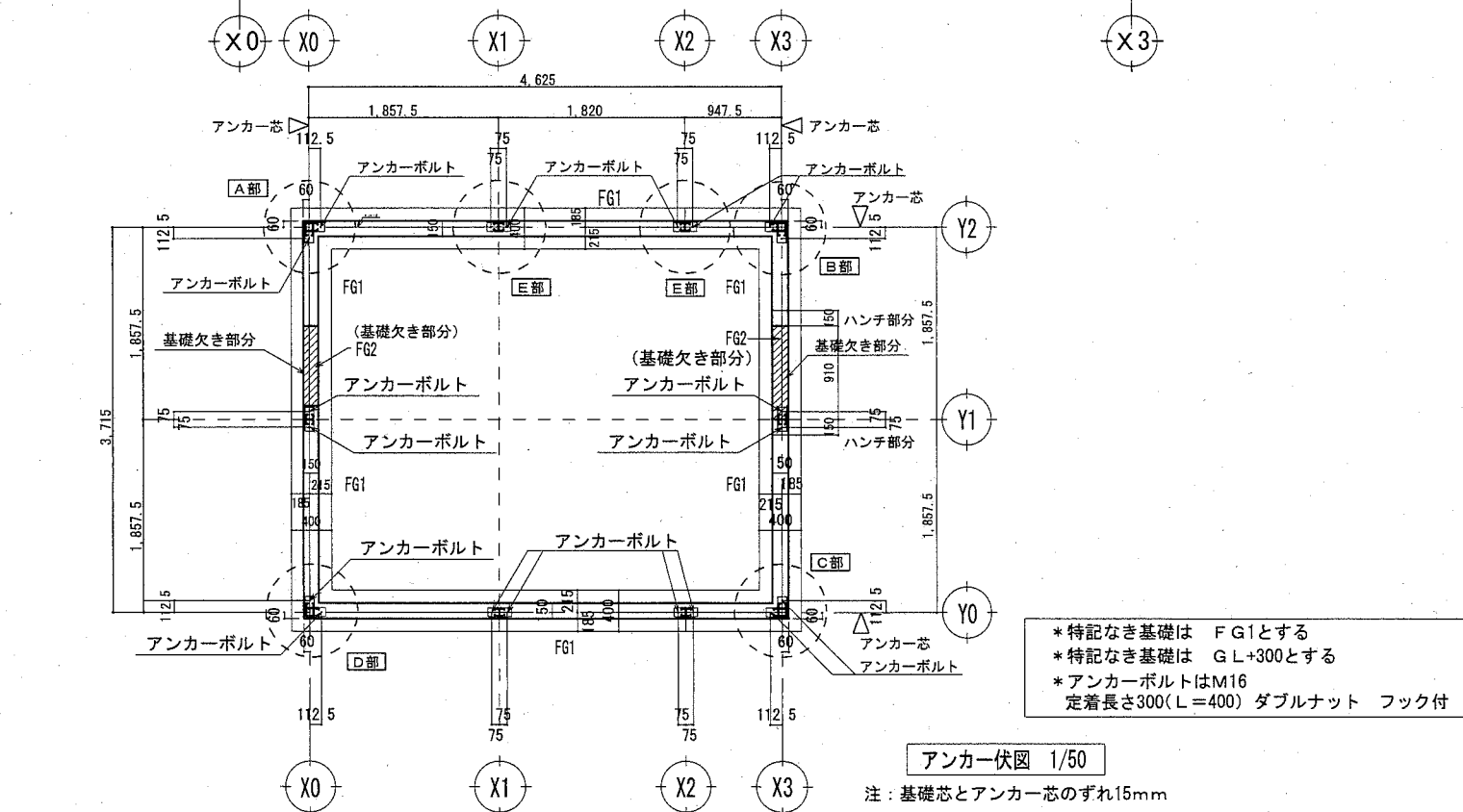
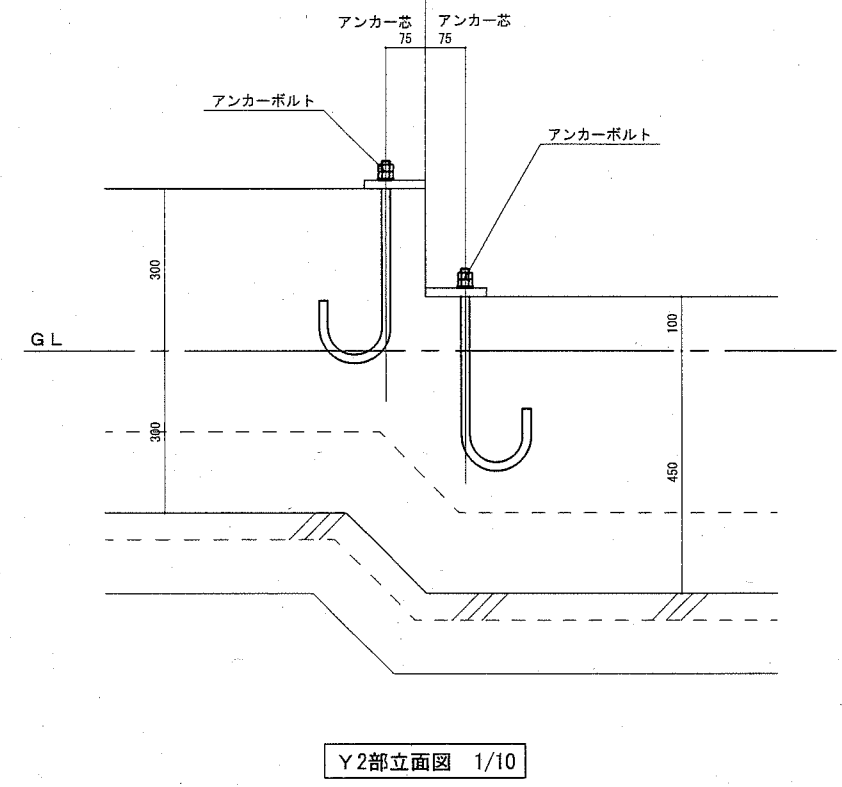
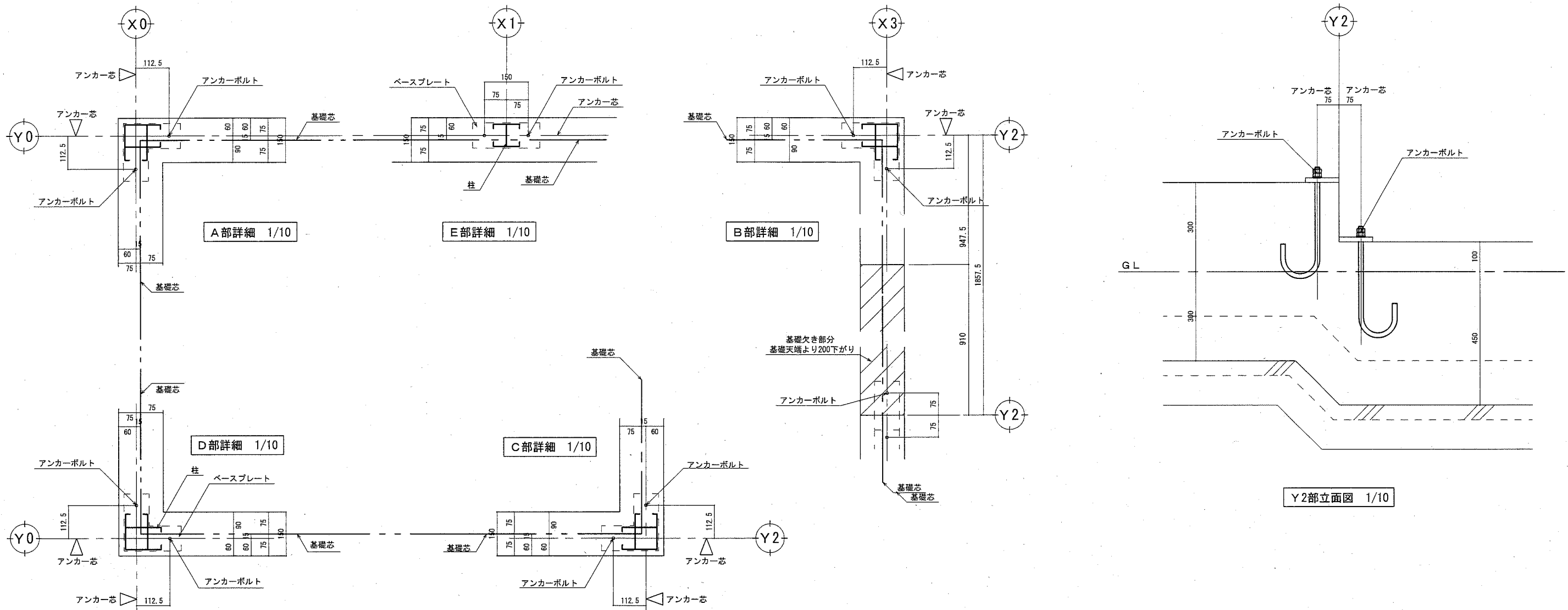
有効換気量計算(建基令20の2)

階数	室名	換気種別	面積 Af (m2)	N値 (m2/人)	人員 (人)	有効換気量 V (m3/H)	設計換気量 (m3/H)	運転モード	判定	備考
1	守衛室	3	17.18	8.59	2	40	150	常時	OK	F-1 換気扇 (150m3/H)

$$V = \frac{20Af}{N}$$
 V: 有効換気量 (m3/h)  
 Af: 居室の床面積 (m2)  
 N: 1人当たりの占有面積 (m2/人)  
 (10を越えるときは10)

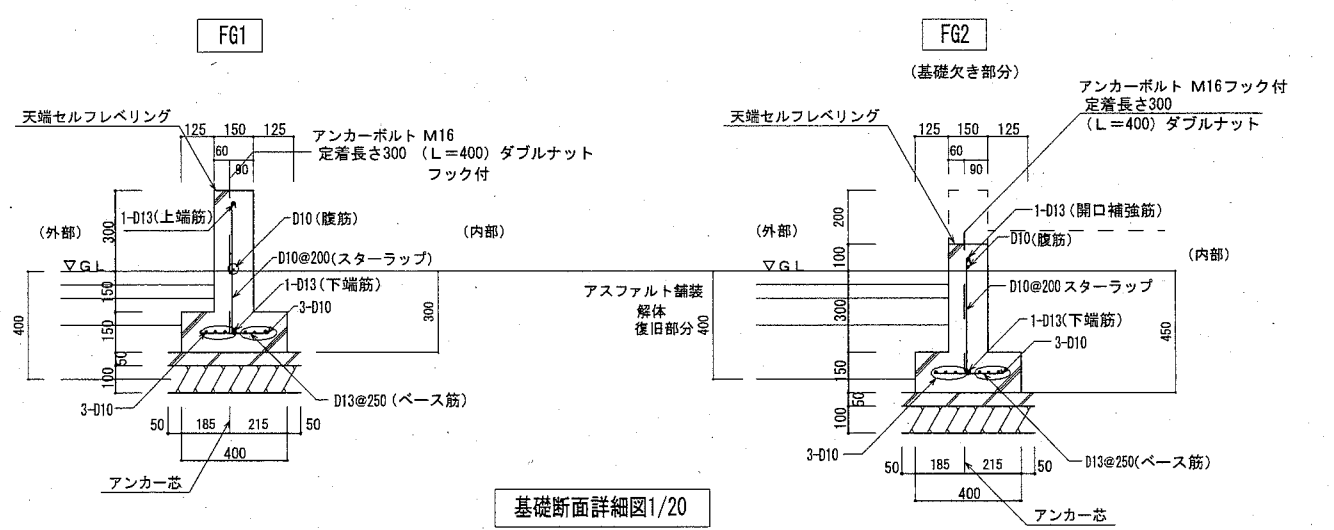
換気ダクト静圧計算

階数	室名	記号	機器名称	運転モード	風量 (m3/H)	羽根径	ダクト圧損						局部抵抗		合計 (Pa)	設計機器静圧	
							直管長	継手形状	継手単位相当長 (m/個)	継手数量 (個)	継手相当長 (m)	合計長 (m)	単位圧損 (Pa/m)	計 (Pa)			ウレザ-カー (Pa)
1	守衛室	F-1	換気扇	24H(常時)	150	200φ	-	-	-	-	-	-	-	1	15	16	20



\*特記なき基礎は FG1とする  
 \*特記なき基礎は GL+300とする  
 \*アンカーボルトはM16  
 定着長さ300(L=400) ダブルナット フック付

注：基礎芯とアンカー芯のずれ15mm



部位	種類	呼び強度及び設計基準強度 (Fc) (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ厚 (cm)	鉄筋
捨てコンクリート	普通	呼び強度=18	18	
土間コンクリート	普通	呼び強度=18	18	SD295A D10、溶接金網φ6 150×150
布基礎	普通	Fc=21	18	SD295A D10、D13

設計年月日 令和 2年10月 日

公共建築課長 主査等 担当者

工事名称 新港地区新港ふ頭守衛所新築工事

縮尺 1/10

図面番号 S / 1

図面名称 アンカー伏せ図 基礎断面詳細図

縮尺 1/20 1/50